

『編集』のチカラ—図書館を動かす新たな視点— 事後アンケート結果

参加者数：第1部 49名 / 第2部 27名

アンケート回収率：90% (44/49名)

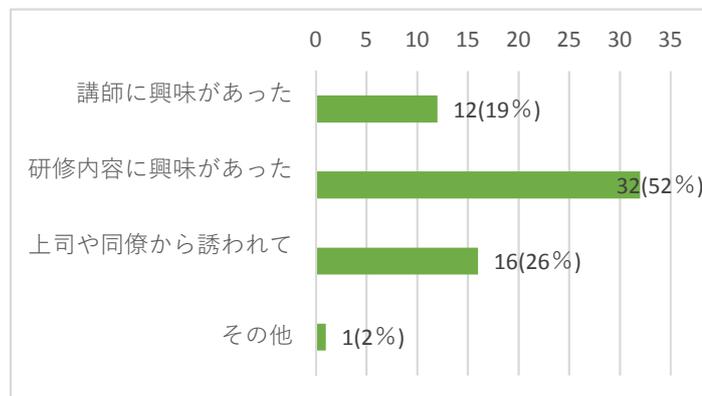
1. この研修に参加されたきっかけは、何ですか。（複数回答可）

講師に興味があった	12
研修内容に興味があった	32
上司や同僚から誘われて	16
その他	1

61

その他：

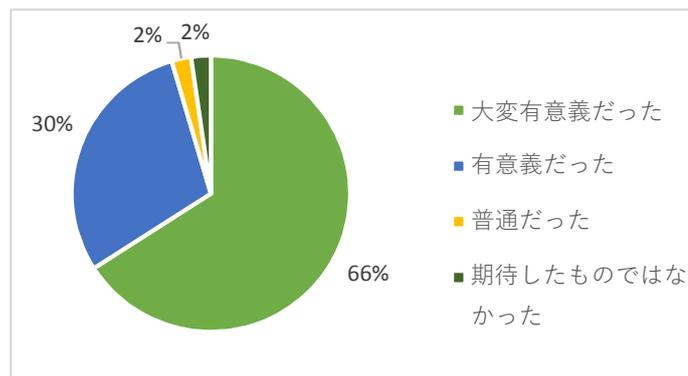
お知らせがあったため。



2. 今回の講演内容につきまして、満足度をお聞かせください。

大変有意義だった	29
有意義だった	13
普通だった	1
期待したものではなかった	1

44



3. よろしければ選択した理由もお聞かせください。

大変有意義だった：

今後の業務の参考になるヒントが複数得られたので
普段の業務ではなかなか触れることのできない内容の話を伺うことができたため。
「ビジョンを持つ」「どういう状態を作りたいか」というのを持ち続けることは、仕事以外でも生かせると思ったから。
編集とは、ということを抽象的に語られるよりも、具体的な経験をいくつかお話しいただいたことで、お話のテーマであった「広い意味での編集」についての理解がしやすかった。
業務改善に取り組む一歩として有意義でした。
完全な2部構成だったのがわかりやすくよかった。また、編集者という普段関わることができない方の話が聞ける貴重な時間だった。
異業種の方から体験談を含めた興味深い話を沢山聞いたので。
藤本さんの著書や経歴をみて、面白そうだと思って。

講師の方の言葉のチョイスが面白く、聞き手を飽きさせないものでした。また、講演の中で「新しい文化を定着させるには、カルチャーを示す言葉を創り出すことが大切」という言葉が心に残りました。その上で、彼が関わった編集という作業は、一つの文化を作り上げる工程の土台敷きの部分のように感じ、強い衝撃を受けました。

講演前に著書を拝読させていただいたのですが、文字では表現できない著者の生の声を感じることができたので。

お話が堅苦しくなく、楽しい口調でした。また、内容も仕事のみならず活かせる内容でした。

「編集」という言葉を広義に考える視点が新鮮だったため。

実際に行動されている方から実感のこもった体験談を聴けたのがよかった。

他の業界で第一線で活躍している方のお話を聞くことができたため、大変刺激になりました。

これと思ったらすぐ行動する。けれども結果を急がず発酵させたり、見守ったりして、タイミングを見て手を入れる。図書館でイベントを企画する際にはもちろんですが、思春期に差しかかっている娘との関わりについても言われているようだと思っていました。

また、地方で生活していて当たり前のことが、外から見れば特別だというお話を伺い、図書館で当たり前のことでも、普段利用しない学生からは特別だということを探し、それを生かした企画を立ち上げることができれば、利用者増につなげることができそうだと思います。

公私に関わるたいへん有意義なお話を伺えたと思います。

少しの発想・視点と行動力でいろいろなことができるということ、面白そうだと思うことを躊躇せずにまずやってみる、周りを巻き込みみんなで協力して作り上げるところが魅力的です。（肩の力がぬけている感もいいなと思いました。）水筒ができるまでのお話は素敵でした（マイボトルいつも持ち歩きます）。

有意義だった：

地域おこしなど社会教育的な視点からいうと、地域に新たな発見と発展をもたらすのは「若者」「よそ者」「馬鹿者」の3つだと言います。この視点は図書館においても同様に必要と思われ、今回はその「よそ者」的な視点からのお話を聞くことができ大変参考になりました。

ありきたりのものではない、突き抜けるにはそこまでやるんだ、と知れたこと。飽きさせないトークで、学びながらも楽しませてもらいました。

発信するための編集。どういうものを作りたいのかを決めた上で編集（作っていく）考え方を今後いかしたい

「編集」という概念を自分の中で再構築できた。

様々なメディアを作成する「編集者」の立場の方のお話は、大変参考になりました。

“編集”という言葉から一般的に想起されるイメージを大きく超える内容だったから。

話の内容が面白かった。

もう少し事例研究的な要素があればと思いましたが、おそらく2部で行われるのかなと感じました。

講師の藤本様のお話がとても面白かったです。

編集と一言で言っても、様々な形で表現をされており、自分の興味あることに対して徹底して探究している姿勢、周りを巻き込む部分など見習いたいと感じた。もっとお話を伺いたかった。

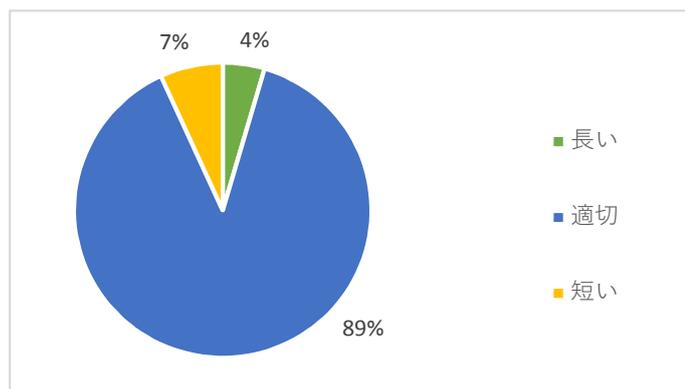
期待したものではなかった：

確かに一理あるが、講師の成功例は立場的に独立した立場（ヒエラルキーの中では上の立場）であったから実現出来たのではないと思われる節もあり、下の人間が同様の行動を起こし、成功例となりうるのだろうか疑問を感じてしまった。

話としては面白いと感じ、得るものがなかったと言う事はないが、研修と考えると、職場で実践してみようと思える内容ではなかった。

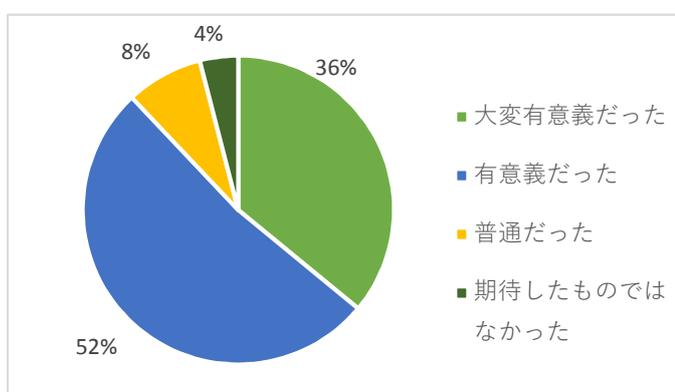
4. 講演時間の長さはいかがでしたか？

長い	2
適切	39
短い	3
44	



5. ワークショップにつきまして、満足度をお聞かせください。

大変有意義だった	9
有意義だった	13
普通だった	2
期待したものではなかった	1
25	



6. よろしければ選択した理由もお聞かせください。

大変有意義だった：

他大学の事例を共有しつつ、業務改善のアイデアを考える機会となったため。
 講義を踏まえて、図書館での事例を元にグループで討論することで、普段の業務に今すぐにでも活かせるような実践的な知見が得られた。
 図書館で働き始めてからずっと管理業務をしてきて、あまり企画するということが無かったのですが、業務の幅が広がればと思いワークショップにも参加しました。ワークショップで意見を出し合うのも楽しかったですし、どのグループの発表にも参考になる点がありました。

有意義だった：

どう考えたら良いかのヒントを得ることができた半面、どう考えていけば良いか進め方が上手くいかなかったので時間を有効に使えなかった
 他機関の方たちのお話はやはり大変参考になります。
 他図書館の状況など聞いて参考になりました。
 グループでの活動は大変有意義なものにできた。だが講師の方が来てくれるのが終了の15分前くらいだったので最後は急ぎ足のまとめになってしまった。サポートスタッフのような方が進捗状況を確認にきてくれたらよかったのにと感じた。また全体の流れがいまいちわからず、最後に投票することも知らなかった。講師の方が進めるのかスタッフ(司会)が進めるのかハッキリしていないように感じた。
 企画の段階では盛り込まなかったが、WS内で他大学の事例を共有できたのは参考になった。班分け、同じ図書館の人が固まっていたのが少し残念だった。

実際に業務上で出た課題をたたき台にしているため、実践的だと思えたから。しかし、時間内にまとめることに必死になってしまい新しく知った「編集」の考え方を還元できたかは個人的に不安でした。

他の図書館の状況を知ることができて良かった。

課題に対して具体的な案を検討する際にどの図書館でも悩みどころは同じく、意見交換から発展することが難しかったが、講師の方のお話で解決策が見つかった。普段の自分では考え付かないような案がでて、有意義だったと思う。

普通だった：

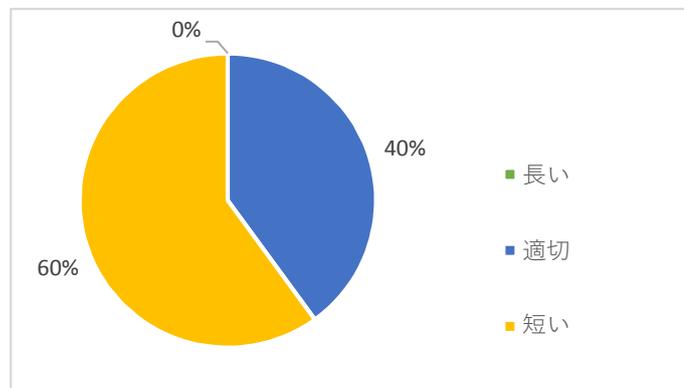
時間が足りない中でビジョンとゴールを共有することの難しさを感じた。

期待したものではなかった：

作業としては楽しめたが、発表を聞いているとどうしても似たような考え方になってしまっていると感じられたため。また、講師から好評を得た案が、必ずしも成功するとは限らないため。

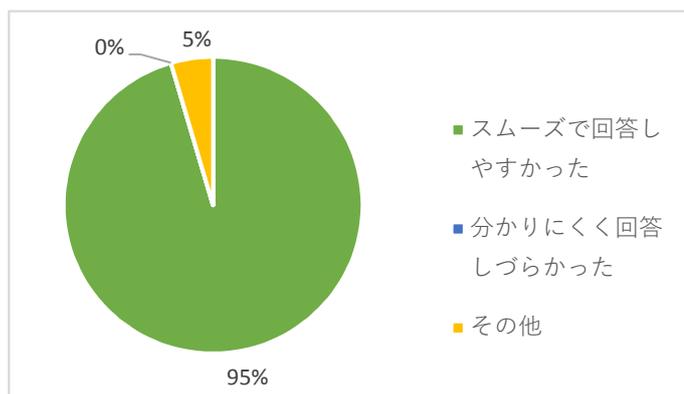
7. ワークショップの時間の長さはいかがでしたか？

長い	0
適切	10
短い	15
	25



8. 今回初めて実施したWebアンケートですが、実際に操作・回答してみているかがでしたか？

スムーズで回答しやすかった	42
分かりにくく回答しづらかった	0
その他	2
	44



その他：

操作性に関しては、容易でしたが、選択した理由を別途、記入させる方式故に、従来の開催時期等の質問がないにもかかわらず、設問数が多いように感じられ、負担に思われた。メール通知が無ければ、回答しなかったかもしれません。

画面が静止した状態だったため、回答できなかった。

9. よろしければ選択した理由もお聞かせください。

スムーズで回答しやすかった：

スマホから回答できて楽だと思ったので
特に不都合は感じなかった。
紙だと記入が面倒だが、Webだと楽だしメールで通知が来るので忘れにくい。
メース返信より簡単でよいと感じた。
ペーパーレス推奨だし、スタッフの集計の手間が省けてよいと思う。
Web形式だと都合の良い時間に思い出しながら回答できるため。
気軽に回答できるので良かった。（このアンケートフォームが見慣れているものだったので余計に）
アンケート等を手書きするのは、時間がかかりますしキレイに書かなくてはと思うため、少ししか書かないことが多いです。このような形で後日入力できるのはありがたいです。（ただし、研修直後の「いい研修だった！」というような感想や反省は時間が経過すると薄れてしまうので、集まるコメントも研修中に書くものとweb回答では異なるものになりそうな気がします）
実際に操作してみて、使いやすかったから
選択方式かつチェックボックスがあることで、判断・回答がしやすいため
回答内容や送り先が間違いない
メールでお知らせいただき、忘れずに回答することが出来たので。また、紙だと当日慌ただしく記入しなければならないので、落ち着いて回答できるこの方法はとてもいいと思います。
当日慌てて書く必要がなく、後日改めて内容を振り返りながら回答することができた。
研修後の紙への記入・提出は、時間が押していると内容を振り返ることも難しく駆け足になってしまい、スタッフの方々の集計も手間だと感じますので、このスタイルが良いと思います。
そのままの理由です。（スタッフ注：スムーズで回答しやすかった）
画面が見やすいです。
記述式じゃないから
手書きではなく、入力できるので時間短縮になり回答しやすかったです。

10. 今回の研修への意見・感想等をご自由にお書きください。

簡単に諦めない、新しい概念には新しい名前をつける、何より継続して行うには面白がりながら出来るように(巻き込み力)等々参考になる点が多くあり大変参考になりました。研修受けて終わりではなく実地にやるにはどうしたら良いか考えます。スタッフの皆様ありがとうございました。
普段とは違う視点の研修内容で、参加したことで得られたものが大きく、とても有意義なものになったと感じています。企画・運営いただきありがとうございました。
講師の選定が絶妙で大変面白かったです。ワークショップに関しては、一チームに一人ファシリテーターがつくほうがいいと思います。初対面で短時間での共同作業は、全体の主旨を把握してある程度仕切る人がいないと上手くは進みません。チームの中で意見が分かれたときなどの調整役も必要です。これらを参加者主体ですべてクリアするのは難しいですし、失敗すると研修自体の印象が悪くなります。
とても有意義ただけに、後半のワークショップの時間がいささか短かったように感じた。それぞれ初対面で、勤める図書館も異なるため、テーマの捉え方や悩みの共有をすることによりかなり時間を要し、そこからアイデアを出して（ここでも、普段それぞれが頭を抱えている問題だけに、なかなか良い案が浮かばず、時間がかかった。）、まとめるまでが駆け足になってしまった。
図書館を編集する、という新しい観点を学べました。学んだことを活かせるようにしたいと思います。事前にグループ分けをしておいたり、ワークの時間があと30分くらい長いともっと深められたのではないかと思います。

<p>内容は気付きに繋がるものであり、今回の研修でしか得られなかった貴重なものだと感じた。会場がオープンスペースということが始めは不安だったが、程よく気が抜けてとてもよかった。</p>
<p>スタッフのみなさま企画お疲れさまでした。</p>
<p>貴重なお話を聞く機会が得られた点は良かったと感じています。研修の趣旨はそれなりに理解したつもりで、新たな視点による成功例もなるほどと思わされたが、講師は外の人間であり、我々受講者は内側の人間であり、前提が違うと言う事を考えると、内側の人間がいかにか、新たな視点を持てるのかという点についてアドバイスが無かったのが残念でした。</p>
<p>「編集」というタイトルだったので広報誌等に関するものかと思いきやそれにとどまらず企画全般に関するもので、とても興味深く聴いていました。</p>
<p>職員が考えて動く企画を作る際の、参考になった。</p>
<p>企画・ご準備など本当にありがとうございました。なかなかお話しすることのない他機関の職員のみなさまのお話も伺えてとても新鮮でした。</p>
<p>普段なかなか直接お話を聴くことができない方だと思うので、今回の講演は貴重な機会だったかと思います。</p>
<p>スタッフのみなさま、大変お疲れ様でした。また藤本様、貴重なお話をありがとうございました。藤本様の講演では、「人と人」「人と地域」など、何かを結びつけることを「編集」と定義していたように思えます。そういう意味では我々の仕事も「資料と人」「情報と人」「人と人」を結ぶという意味で「編集」なのだと再認識しました。ただ、編集する人自身が熱意をもって「自分がやりたくてやっている」という意識でないと、単なる押し付け・空回りになってしまうのだなあと反省しました。</p>
<p>講演もワークショップも、とても楽しかったです。ありがとうございました。</p>
<p>視点を変えるというとなし難いのだが、講演やワークショップでのアドバイスを聞いていると、「要素を抽出することが大事だと気付いた。「どういう行動をとらせたいか」ばかりに気にしていたが、今後は「どういう気持ちになってほしいか」を考えながら、利用者に押し付けがましくない企画を考えていきたい。</p>
<p>講師のお話がとても楽しかった。「秋田」について他の地方からの視点でとても素晴らしいを掘り起こしたり、その素晴らしいと感じるところをきっちりと形にして、発信し、周りの価値観を変えていく過程がとても素晴らしいと思いました。個人的には「すいとう」の本も見てみたかったです。</p>
<p>日頃触れることのない貴重な世界が垣間見えてよかった。仕事に活かせるヒントも多かったので明日から頑張りたい。</p>
<p>始めは、講師の方が、プロフィールや参考サイトなどをみても、どんな人なのか分かりませんでした。ただ、面白そうな人だなと感じ、どんな人か知りたくて参加致しました。お話しを聞いたら、編集という仕事が多様な仕事で、どんな思いを持ち、仕事や様々なことに取り組んでいるのかということが分かりました。話しを聞くのは大事だなと思いましたし、何より楽しくお話しを聞かせていただきました。私も「どういう状態をつくりたいか」ということを思いつけて、行動していきたいと思いました。</p>
<p>自分の中では、館内で実施するイベント等を、いかにアピールするかの手法を学ぶのかと思って参加しました。ですが、編集とは、自身が描くゴールやビジョンを達成するための手法や手段を言うこと。その実践例として、藤本さんのこれまでの地域活動や、企業との活動についてなどのお話を伺いました。当初想像した内容とは違いましたが、すごく面白かったです！理想とするものがなければ、世の中に新しいものを提案すればよい、光の当たっていない（価値ある）ものに光を当てる、というお話は、地域や企業に限らず、図書館の活動にも言えることで、自分の考え方の枠を外してくれるような、よい講演でした。藤本さん、講演会を企画下さったスタッフの皆さん、本当にありがとうございました。</p>
<p>講師の方の物事を多角的に見る柔軟な発想（ユーモアのセンス）を学びたかったため、とても有意義な研修だったと思います。「ぬか床的な」待つ力、「よそ者だからこそ」見出す力をうかがい知ることが出来たことに”お徳感”を感じましたし、この”お徳感”感覚を取り入れることで私なりの感性を磨き、その先にある編集力を身に付けたいと考えます。</p>
<p>話の内容も実際自身の廻りにもよくあるようなことだった。仕事や生活に対する考え方の参考になりました</p>

<p>事前に「魔法をかける編集」を拝読して参加させていただきました。</p> <p>一番印象に残ったのは、雑誌記事で秋田の寒天に情熱を注ぐお母さんたちと長野の棒寒天製造の人たちを引き合わせたという話です。</p> <p>この話を拝聴して、編集とは『点と点を繋げて線にして""わ""にする』ということなのだ、と感じました。私たち大学図書館の職員も、微力ではありますが利用者の研究に役立つことで、その研究が巡り巡って世の中の誰かを幸せにするという、編集の仕事を行っているのではないかと思います。</p> <p>すぐに結果を求められる現状では、『待つ』『寝かせる』ということが難しいですが、自分の中の情熱の炎は絶やさずに、職務を続けていきます。今回は貴重なお話をお聞かせ頂き、ありがとうございました。</p>
<p>よくあるスライドがメインの講義形式ではなく、トークショーのような形が新鮮で、楽しくお話を伺うことができました。</p>
<p>お忙しい中での企画・準備は大変だったろうと思います。お疲れさまでした。このような研修で楽しくスキルアップできるのはすごくいいと思います。</p>
<p>とてもユニークな講師を選ばれたと思います。仕事に即・直結しなくても、発送の幅が広がりました。</p>
<p>お話がうまくて、楽しく聞けました。スタッフのみなさま、お疲れさまでした。</p>
<p>講師の先生のお話は面白かったのですが、もう少し図書館に近い事例をお聞きしたかったです。2部の内容には非常に興味がありましたが、現在の日常業務への反映がないのに参加して良いものかと思ひ、遠慮しました。</p>
<p>関西のひとからみた東北の文化が面白いと思った</p>
<p>図書館の業務課題等は身の回りにあるのに、案外気づけていないものもあるのかもしれない。</p> <p>図書館で抱える課題など難しいことを面白いことに転換できる柔軟性と行動力が働くスタッフにあればもっと大学図書館としての機能は拡大されるのでは～と思った時間でした。貴重なお話をありがとうございました。</p>

11. 今後学んでみたいテーマがありましたら、ご記入ください。

<p>今更感はあるですが考えの枠を取り払う方法も結構必要かもしれない、と思いました。</p>
<p>研究データ管理</p>
<p>今回のような、各図書館共通の悩みに対する実践的な知見の得られる研修。</p>
<p>国立大学図書館東地区の研修は毎回興味深いテーマや講師が多く、毎年楽しみにしている。修理や保存に関することを扱ってもらえたらうれしい。</p>
<p>クレーム対応</p>
<p>係長以下の立場の職員が行動を起こし、成功した改革等の事例に基づく、ノウハウ考え方など。部課長級の方の成功事例よりも自分に近い立ち場の方々の工夫や努力に触れたいです。</p>
<p>図書の詳しい修復について・増加する資料や図書の収納や保存について</p>
<p>図書館の空間づくりについて</p>
<p>まったく違う業界の方のお話を聴くことで気づきや得るものがあるかと思いますので、今後もいろんな人に講演依頼していただけたらうれしいです。</p>
<p>同じテーマで、演劇ワークショップがあったら参加してみたい。</p>
<p>言葉の言い回し、対義語や類語のケースバイケースの活用法について</p>
<p>本の選定のコツ。特に洋書の選び方。</p>
<p>AI と図書館の未来について。</p>
<p>資料の劣化防止策</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館における非図書資料の利用法（博物館・資料館との連携において） ・ 1冊の本が出来るまで、構想から出版、販売戦略までの事例検証をとおして ・ 魅力的な図書配架とは？
<p>おもしろ楽しく人に伝える話術</p>
<p>図書の資料価値について。その判断基準等あれば学んでみたいです。</p>